

1年次

医学の基礎と教養を身につける

2年次

基礎医学を修得する

3年次

IPW(多職種連携)を理解する

4年次

知識・技能を磨いて臨床実習へ

5年次

医師としての素養を修得する

6年次

医師に向かって学びを集大成

基礎力養成期間

専門力養成期間

実践力養成期間

基礎的な自然科学および語学の修得、人文・社会的教養の醸成に努めます。また、問題基盤型学修(PBL)を「医学概論入門」に導入し、自学自修能力を涵養します。「医学部へようこそ」では、医療・研究の最前線で活躍する教員から直接体験談を聞くことにより、兵庫医科大学学生としてのモチベーションを高めます。

医師としての十分な知識・技能・態度を養成するため人体の構造と機能を本格的に学び始めます。また、基礎医学の水平的統合をめざした科目や研究者としての資質を涵養する科目、基礎と臨床医学との統合ならびに橋渡しを目的とした科目も開講します。さらに1年次、2年次の総まとめとして総合進級試験を行います。

臓器別に内科・外科などの水平的統合、また基礎医学との垂直的統合による科目の統合カリキュラムで、知識の確実な修得を後押しします。グループワークをしながら自ら考え討論するアクティブラーニングの実践や4学部(医・薬・看護・リハビリ)合同教育で多職種連携の重要性を学びます。また、研究医コースも開始されます。

引き続き統合カリキュラムで、これまで蓄積した知識を整理します。社会医学系科目、全身に係わる全科横断的な臨床科目、臨床実習を始める準備科目など多彩な内容です。プレクリニカル教育では、基本的な診療手技を身につけます。総合進級試験、CBT/Pre-CC OSCEを経て、11月からはいよいよ臨床実習が開始されます。

4年次末に引き続き、臨床実習を行います。見学にとどまらず、クリニカルクラークシップ(診療参加型臨床実習)によって診療チームの一員として患者さんに接します。ここで医師として相応しい態度と技能、知識を身につけます。2月からは学外臨床実習に進み、第一線の病院で大学病院とは異なる経験をします。

4月から8週間、学内や学外の病院で高度な実習や海外実習、あるいは研究室配属など、実践的で自由度の高い選択実習を行います。また、Post-CC OSCEでは臨床推論を鍛え、医師としての診察技能を磨き、医師国家試験対策・卒業試験に臨みます。

集中型講義

統合カリキュラム

実地臨床医学

※4年次から実地臨床医学あり

チーム基盤型学修

臨床実習(クリニカルクラークシップ)

※診療参加型臨床実習を含む
※4年次から臨床実習あり

医学部へようこそ

基礎系講座配属

在宅ケア(訪問看護)実習

プレクリニカル教育

医師国家試験対策

早期臨床体験実習I

早期臨床体験実習II

チーム医療演習

臨床疼痛学

卒業準備・総まとめ学習

- 医学部へようこそ ●医情報学
- 医情報学実習 ●心理学実習
- 医学概論入門
(アカデミックリテラシー教育科目)
- 健康スポーツ科学 ●医学物理
- General English I:Reading
- General English I:Speaking
- 基礎物理化学 ●ライフサイエンスの基礎数学
- 生物学 ●人の行動と心理の科学
- 早期臨床体験実習I ●自然科学実習
- 細胞生物学 ●基礎生命化学
- 医療コミュニケーション
(ロールプレイ実習)と生命倫理
- 糖質と脂質の構造・代謝
- タンパク質とアミノ酸の構造・機能・代謝
- 生物化学統合TBL
- 組織総論と器官・臓器の解剖I(消化器)
- 器官・臓器の解剖II(筋・骨格と末梢神経)
- 器官・臓器の解剖III(循環・呼吸器)
- 器官・臓器の解剖IV
- 器官・臓器の発生 ●人体解剖実習
- 地域医療特別演習I(地域指定制推薦入学生のみ)

- 生化学実習
- 個体の調節機能
- 中枢神経系の解剖
- ホメオスタシス
- 医学英語入門
- 生理学実習
- 生体と薬物
- 原因と病態
- 生体と寄生虫
- レベルアップ選択科目II
- 生体と微生物
- 細胞機能異常と腫瘍
- 基礎医学統合TBL
- 生体防御のしくみとその破綻
- 遺伝と遺伝子
- 早期臨床体験実習II
- 基礎系講座配属(研究者としての手ほどき)
- 医学英語論文講読演習
- 臨床入門
- 地域医療特別演習II
(地域指定制推薦入学生のみ)

- 腎・尿路系の疾患 ●循環器系の疾患
- 呼吸器系の疾患
- 男性臓器および後腹膜臓器疾患(泌尿器科疾患)
- 女性臓器疾患
- 医の倫理・研究倫理とプロフェッショナリズム®
- 医学英語® ●内分泌・代謝・栄養の疾患
- 血液・造血器の疾患
- 消化器系の疾患(肝・胆・膵の疾患)
- 消化器系の疾患(消化管の疾患)
- レベルアップ選択科目III ●症候病態TBL(1)®
- チーム医療演習-患者の痛みのわかる医療者養成®
- 東洋医学入門 ●神経系の疾患
- 運動器系の疾患 ●免疫・アレルギー疾患
- 妊娠・分娩と乳房の疾患 ●成長と発達
- 耳鼻・咽喉・口腔・頸部の疾患
- 精神の疾患 ●検査学
- 頭蓋・顎・顔面および体表の疾患(形成外科学)
- 皮膚系の疾患 ●歯・顎・口腔系の疾患
- 視覚器の疾患 ●在宅ケア(訪問看護)実習®
- 内科系まとめ試験®
- 地域医療特別演習III®
(地域指定制推薦入学生のみ)

- 英語で学ぶ臨床推論®
- 医療における情報とデータサイエンス
- 画像診断と治療
- 死と法
- 麻酔と緩和医療
- 総合診療学
- 症候病態TBL(II)®
- 病理診断学
- 加齢と老化
- 保健、医療、福祉と介護の制度
- 社会環境と健康
- 臨床疼痛学
- リハビリテーション医学
- 救急と災害
- 感染性疾患
- 医療安全管理と薬害®
- 医療入門®
- 臨床ゲム医学
- 臨床解剖実習
- プレクリニカル教育®
- 臨床腫瘍学総論
- 臨床実習®
- 地域医療特別演習IV®
(地域指定制推薦入学生のみ)

- 臨床実習
- 臓器別補習講義
- 医療英会話
- 地域医療特別演習V
(地域指定制推薦入学生のみ)
- 学外臨床実習

- 自由選択実習
- 海外実習(短期留学)
- 選択臨床実習(学外・学内)
- 四大学相互乗り入れ実習
- 研究室配属(学外・学内)
- ボランティア/補習講義
- 地域医療特別演習VI
(地域指定制推薦入学生のみ)
- 臓器別特別演習

選択科目

- 基礎物理学 ●基礎生物学 ●基礎化学
- 人文・社会系選択科目(関西学院大学にて受講)

総合進級試験

総合進級試験

CBT/Pre-CC OSCE

中間試験

総合進級試験

プレゼンテーション試験

Post-CC OSCE

中間試験

卒業試験

1年次から4年次は、75分間授業を取り入れています。また実習や少人数学修等一部を除き原則として講義は一日4時間目(午後3時25分終了)まで。5時間目は予習・復習、補講、課外活動などに利用できる「Supplementary Lesson」として、ゆとりあるカリキュラム構成となっています。